

製品名: グルコシダーゼ II α ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11486**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	107kDa

抗原情報

遺伝子名	GANAB
別名	GANAB; G2AN; KIAA0088; Neutral alpha-glucosidase AB; Alpha-glucosidase 2; Glucosidase II subunit alpha
遺伝子 ID	23193.0
SwissProt ID	Q14697
免疫原	抗血清はヒト GANAB 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 242-291

背景

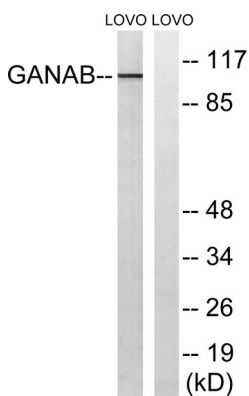
この遺伝子はグルコシダーゼ II の α サブユニットをコードし、グリコシルヒドロラーゼ 31 ファミリータンパク質の一員です。ヘテロ

二量体酵素であるグルコシダーゼ II は、小胞体において未熟な糖タンパク質からグルコース残基を切断することにより、タンパク質のフォールディングと品質管理に関与しています。この遺伝子の発現は、肺腫瘍組織および紫外線照射に反応して亢進します。この遺伝子の変異は、常染色体優性遺伝性の多発性嚢胞腎および肝疾患を引き起こします。 [RefSeq 提供、2016 年 7 月],触媒活性: (1→3)- α -D-グルカンの末端(1→3)- α -D-グルコシド結合の加水分解。機能: 未熟糖タンパク質の Glc(2)Man(9)GlcNAc(2)オリゴ糖前駆体から、最も内側の 2 つの α -1,3-結合グルコース残基を順次切断する。経路: グリカン代謝; N-グリカン代謝。類似性: グリコシル加水分解酵素 31 ファミリーに属する。細胞内局在: ステージ I からステージ IV までのメラノソーム分画において質量分析により同定された。サブユニット: 触媒 α サブユニット (GANAB) と β サブユニット (PRKCSH) のヘテロ二量体。グリコシル化された PTPRC に結合する。組織特異性: 胎盤で検出される。 ,

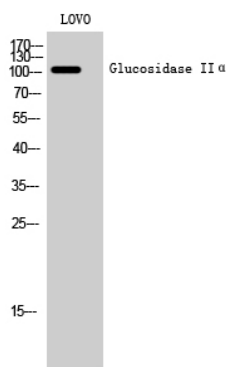
研究分野

N-グリカン合成;

画像データ



GANAB 抗体を用いた LOVO 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



グルコシダーゼ II α ポリクローナル抗体を用いた LOVO 細胞のウェスタンブロット解析